

「土呂久に集まれ!」新聞



令和7年度11月号(第7号)



GO_TO_TOROKU

Instagramもフォローしてね!!

発行 宮崎国際大学教育学部「土呂久に集まれ!プロジェクト」
(<https://sites.google.com/sedu.miu.ac.jp/torokuniatsumare/>)

作成 教育学部2年 学籍番号 20242011 橋本幸汰

みなさん、こんにちは!「土呂久に集まれ!」新聞です。突然肌寒くなってまいりましたが、いかがお過ごしでしょうか?

今月の「土呂久に集まれ!」プロジェクトの活動を、紹介していきます。

紅葉祭り

11月2日に、土呂久地区の伝統的なお祭りである「紅葉祭り」が開催されました!「土呂久に集まれ!」プロジェクトは、地域の方との交流を深めるために、毎年この祭りに参加しています。今年度も、祭りの席にお邪魔させていただきました♪

特に今年度、新しくプロジェクトに加わったメンバーにとって、この紅葉祭りは非常に貴重な機会となりました。

入ったばかりの頃は、土呂久の歴史や地域の方々との関係について、まだ戸惑いがあったかもしれませんが、しかし、祭りの和やかな雰囲気の中で、地域の方々が分け隔てなく声をかけてくださり、優しく接して下さったおかげで、彼女らもすぐに地域に溶け込むことができました。

ベテランのメンバーにとっても、普段の活動ではなかなか深くお話できない方々と膝を突き合わせ、土呂久の暮らしや昔の話を伺うことができ、地域との「絆」を一層強固なものにすることができました。

紅葉祭りは、私たちプロジェクトメンバーが、土呂久を「研究対象」ではなく「大切なふるさと」として感じられる、かけがえのない機会です。改めて、温かく迎えて下さった土呂久の皆様にご心より感謝申し上げます。



祭りの準備をしている濱砂剛志(2年生)、岩切うらら(4年生)、
工藤康太(2年生)、井野敏紀(4年生)、濱口愛美(2年生)、
舩永綾花(2年生)、森園恵実(2年生)



祭りを楽しんでいる地域の方々と、上床晃汰(3年生)、工藤康太(2年生)

五ヶ瀬中等教育学校の総合的な学習の時間に招かれました

先日、プロジェクトリーダーの工藤康太が「一般社団法人高等教育コンソーシアム宮崎 令和7年度第1回 シンポジウム」にパネリストとして登壇しました。(詳しくは 9 月号をご覧ください) その際にいらした五ヶ瀬中等教育学校の先生から、「よろしければ総合的な学習の時間にアドバイザーとして出席しませんか？」とお声掛けいただき、この度 11 月 5 日と 6 日の 2 日間に渡って五ヶ瀬中等教育学校に伺うことになりました。1泊2日の泊まり込みで行った今回の合宿は、プロジェクトを大きく発展させるための「糸口」を見つけることができた、まさに大成功の合宿となりました！

今回の訪問の中心は、地域の方々や専門家である川原先生からの貴重なお話を、五ヶ瀬中等教育学校の生徒さんたちと一緒に聞くことでした。これまでの活動で、私たちは文献や資料から土呂久の歴史を学んできましたが、専門家の方々のお話を直接伺うことで、プロジェクトメンバー全員の土呂久に関する知見は格段に広がりました。

特に感動的だったのは、地域の方々の具体的な生活の様子や、複雑な歴史に対する想いを、その「生の声」として直接聞いたことです。活字だけでは伝わらない、そこに暮らす人々の息遣いを感じられ、私たちが得ていた知識は「生きた情報」としっかりと結びつきました。

幸運にも、私たちは授業の中で、五ヶ瀬中等教育学校の生徒さんたちと交流する機会を頂くことができました。短い時間ではありましたが、私たちが取り組む「土呂久に集まれ！」プロジェクトの目的と意義を伝えることができ、彼らにとって土呂久が「遠い話題」ではなく、「身近な歴史」として認識されるきっかけを作れたことは、今回の大きな成果の一つです。

また、五ヶ瀬中等教育学校の先生方とも非常に良い関係を築くことができました。つまり、私たちは今回の合宿で、単に「知識」だけでなく、今後の活動を進めていく上で必ず助けとなる「人脈」という大きな財産を得ることができたわけです。

今回の五ヶ瀬での経験を活かし、プロジェクトを力強く推進してまいります。引き続き、皆様の温かいご支援をお願いいたします！



打ち合わせ中の工藤康太(2年生)、橋本幸汰(2年生)、
岩切友敬(4年生)、井野敏紀(4年生)



昨年度のプロジェクトで制作した「一番坑」と「トロツコ橋」の看板を、五ヶ瀬中等教育学校の生徒たちに紹介する工藤康太(2年生)